



ぼろんていえ VOLONTIERS!

～町田国際交流センターだより～

【編集/発行】
(一財) 町田市文化・国際交流財団
町田国際交流センター

～ 外国語サークル 5 月より始動！～

今年も5月から外国語サークルが開催されています。外国語部会の活動の概要を紹介します。

〈5言語 8 クラスで運営〉

学習目的別に、中国語と韓国語は入門・初級の2クラス、英語は基礎・中級の2クラス、タイ語入門、スペイン語は各 1 クラスの5言語 8 クラスがあります。授業は5月から翌年2月までの月2回計18回で行います(8月は休み)。各サークルはネイティブの外国人講師と日本人コーディネーターにより運営されています。

〈外国語学習は異文化理解の始まり〉

外国語部会の目的は外国語学習を通じた異文化体験であり、異文化理解に関心を持つ人たちの国際感覚を高めるための語学サークルです。通常の語学学校にあるような各種資格試験や受験対策は目的とはしていません。講師にはネイティブの外国人を採用し、単なる言語の学習ではない各国の文化、習慣の理解を深めていきます。

また、一般的な語学学習の他に料理教室、民族音楽、伝統遊びなどクラスにより様々な工夫を凝らしたイベントを企画しています。

このように外国語部会は言語の学習、参加者の親睦と異文化理解を深めるための場を提供しています。本年度の受講生募集は一旦終了しましたが、追加募集などがある場合は随時 HP でお知らせします。

また、実際の授業を受けてみたいという方は事前に事務局に予約することで、1 回のみ無料体験が可能ですのでご利用ください。

外国語部会 伊藤 和成



スペイン語



タイ語入門



中国語入門

ぼろんていえ Volontiers! の由来:誘われたとき「喜んで！」と笑顔で応えるフランス語

町田国際交流センターではボランティアを中心に、日本にいる外国の方を支援したり、コミュニケーションの活性化をはかるなど、様々な活動を行っています。

国際交流事業やボランティアのお問い合わせは、町田国際交流センターまで

〒194-0013 東京都町田市原町田 4-9-8 町田市民フォーラム 4F
TEL 042-722-4260 FAX 042-722-5330



<https://www.machida-kokusai.jp>



E-mail:info@machida-kokusai.jp



アメリカの学生と交流 ホームビジット開催！

以前から関心があった国際交流部会の4月定例会に初めて参加しました。そこでホームビジットが6月1日(日)にあると聞きホストファミリーに志願しました。

アメリカのノースイースタン大学で日本語を学んでいる5名の学生が、広島、京都、東京と2週間の夏季プログラム中、町田でのホームビジットに参加しました。当日は緊張の中での自己紹介、そして夕方17時の食事会まで各自自由行動といった流れです。私は大学2年のクロイさんと大学1年の孫と一緒に町田商店街を昔の道だと説明しながら我家へ行きました。ちらし寿司の準備をしていたので、レトロな絵皿への盛り付けを楽しみ、お吸い物と一緒に美味しく食べました。

その後、寿司ネタ漢字の“へん”と“つくり”を合わせる神経衰弱漢字ゲームをしましたが、クロイさんの1人勝ちでした。百人一首の坊主めくりもやった事があるそうです。その後100円ショップでの買い物と忠生公園を散歩、ニューヨーク育ちの彼女には湧水のある公園が珍しいようでした。夕方から町田に戻り、学生たちと国際交流部会員合同食事会に参加しました。

彼女のご両親は中国出身で、親とは中国語、弟や家庭外では英語で話しています。そして日本語は習ってからは1年ちょっと。看護師になる勉強をしているそうです。大学には留学生が多いのでこれからが心配だとか。孫と同世代なので話も弾み、又参加したいと言われました。私も今回外国の方を初めて我家に招き、貴重な体験をさせて頂きました。

国際交流部会 征矢 道子



ボランティアにききました

「支援しながら自分も多くのことを学ぶ・知ることは喜び」を実感

渡辺 信代 さん

【所属部会・活動年数】日本語教室部会3年目・外国人相談部会4年目

*インタビューは、日本語教室部会での活動について聞きました。



Q. 活動を始めたきっかけは何ですか？

仕事を辞めるタイミングでボランティアを始めたいと考えていました。これまで、外資系の会社や日本人及び日本に住む外国人の就労支援等に携わってきたつながりの中から、国際交流に係る活動を始めたのは自然な流れだったのではと思っています。

1年目は外国人相談部会に所属、同じ年に日本語学習支援ボランティア基礎講座を受講し、翌年から日本語教室部会にも所属しています。

Q. 日本語教室部会での活動内容について教えてください

週一回、金曜午前中のクラスで中国とロシアの方を担当しています。クラスでは決まったテキストはなく、学習者の日本語を学ぶ目的やレベルを見極め、それぞれのボランティアがその方に合った学習方法を考え、工夫し、支援活動を行っています。

多くの外国人が日本人と日常会話する機会が少ないと言います。私は新聞の投稿欄を題材に、日常の風景や日本人の感覚について会話する時間を多く設けています。

Q. 活動を通して感じたこと、楽しいこと、嬉しいことはありますか？

クラスでは、やさしい日本語を使うことが大切です。他の学習支援の方との会話でも「この日本語、どのように表現すればうまく伝わるかしら」といった話が自然に出るなど、言葉にとっても敏感になりました。自分自身のこの変化を純粋に楽しんでます。

また、学習を支援する立場ではありますが、実は彼らから教わるがたくさんあります。活動を通じて何か国もの人たちと会話し、異なる国の知らないもの、思いに触れることができる。知ることは喜びなんだということをあらためて実感しています。

他にも、クラスが終わった後など、様々な国籍の方たちが日本語を使って会話をしているのを見ると感動します。

Q. 今後の目標を教えてください

学習者が生活するうえで必要最低限の会話力だけでなく、それ以上のこと、例えば心の中で思っていることや感じていることを表現できれば、日本人との交流がよりうまくいくと思います。皆さんの学ぶ意欲はとても高いので、そっと後押しできるようなお手伝いを続けていきたいと思っています。



モルックで国際交流

5月24日(土)、町田シバヒロでモルック大会が行われました。

「モルック」はフィンランド生まれのスポーツで、モルックと呼ばれる木製の棒を投げて、地面に立てられたスキttlと呼ばれる数字が書かれた木の棒を倒し、得点を競い合います。国籍・性別・年齢に関係なく、一緒に楽しむことができるスポーツです。中国・ケニア出身の外国人を含む14名が参加しました。

国際交流部会員からルールの説明を受けた後、6チームに分かれ、熱い戦いを繰り広げました。

先に50点ぴったりになったチームが勝ちとなるシンプルなルールです。初めての方もプレー回数を重ねるたびに素晴らしいショットを連発し、思い通りのショットができなかった時でも、周りが「大丈夫、気にしないで」と元気づけていました。また、敵味方関係なくスーパーショットには拍手や「ナイス」の声援が送られ、皆さん、和気あいあいとした雰囲気の中で競技を楽しんでいました。終了後、お互いの健闘を称え合い、一緒に記念撮影を行うなどスポーツならではの爽やかな交流会となりました。

国際交流部会は様々な国際交流活動を行っており、その一つのモルックは単なるスポーツであるだけでなく、国境や年齢を超えた親交を深める貴重な機会になっています。

ご参加いただいた皆様、運営に携わられた関係者の皆様、誠にありがとうございました。心配された雨も降ることなく、有意義な一日を終えました。

国際交流部会 樺澤 忠雄



編集後記



街路には百日紅が赤や白の花をつけ目を楽しませてくれます。今年も暑い夏が続きそうで、暑さ対策には十分にお気を付けてください。さて、今年ももう半年が過ぎ、皆さんの年頭の計画は順調に進んでいますでしょうか。暑い夏ですが、語学やスキルの上達、旅行など、年初の計画を推進するには、キリの良い時期と思えるのですが。あと2か月ほどの夏のシーズン、お互い頑張ってみませんか。